

# 統計調査ニュース

平成24年（2012）6月

No.307



## 平成24年度の統計研修について

総務省統計局長

併任統計研修所長 福井 武弘

総務省統計研修所は、国・地方の全ての職員を対象とした統計専門の研修機関で、職員の統計知識の向上及び公的統計を支える人材の育成を目的としています。

統計研修所では、大正10年（1921年）の開設以来、これまで25,000人以上の研修修了生を輩出しています。平成23年度は、約1000人の研修参加者のうち、地方公共団体からは、全体の半数以上に当たる500名以上の参加者がありました。

統計研修の役割は、3点挙げられます。1点目は、統計リテラシーの向上です。統計の有用性の理解、統計データを利活用する能力など、公務員が備えるべき統計に関する基礎的素養を習得する場を提供することです。2点目は、統計調査の企画・実施・集計を担う人材の育成、3点目は的確な行政運営のために専門的に統計データの加工・分析を行う人材の育成です。

研修課程には、統計の基礎から応用まで総合的に学ぶ「本科」（3か月間）、統計の利活用に関する基礎的な課程として「一般職員課

程」、「PCを用いた統計入門」など（3～5日間）、分野別の専門的な研修課程として「国民・県民経済計算」、「産業連関分析」、「人口推計」、「経済予測」など（3～5日間）、そして更に高度な分析手法を習得するものとして「統計解析ソフトRで学ぶマイクロデータ利用入門」（4日間）を開講しています。

また、業務の都合などで統計研修所での研修への出席が困難な職員のために、職場でインターネットを介して統計の基礎を学ぶ通信研修「統計調査基礎課程」や地域の職員のための統計基礎知識や地域分析に関する出前研修も実施しています。

統計研修所では、より充実したニーズに合った研修を提供するため、研修の内容や研修の実施形態などについて、各研修課程の修了時に参加者にアンケートで意見を求めたり、派遣機関にアンケートや訪問によるヒアリングを実施しています。

その結果、平成24年度は、17課程28コースの研修を実施しま

すが、意見・要望に対応して演習及び分析を充実させ、また、他府省で実施する研修等の実施時期にも配慮して、統計研修に多くの方の参加が可能なように時期を調整しました。

また、統計研修所では、「公的統計の整備に関する基本的な計画」に基づき、学習指導要領が改訂され小・中・高等学校で統計教育が拡充されるのに合わせて、公立学校の教員も統計研修に積極的に受け入れることとしています。

統計研修所は、平成25年度末に、総務省情報通信政策研究所の施設に移転し、施設の共同利用を行うこととしておりますが、移転後も充実した統計研修が円滑に実施され、研修参加者が快適な環境で研修に専念できるよう準備を進めているところです。

今後も、ニーズに合った統計研修を実施するよう努力してまいりますので、各機関におかれましても、一人でも多くの職員を統計研修に派遣していただき、職員の統計能力の向上に役立てていただければ幸いです。

### 目次

平成24年度の統計研修について	1	ビジネスレジスターの運用開始に向けた取組状況	5
家計調査（貯蓄・負債編）平成23年平均結果速報の概要	2	統計データの二次利用に関する取組	6
平成24年就業構造基本調査ポスターの紹介 ／統計資料館の御案内	3	第60回統計グラフ全国コンクール作品募集	7
「なるほど統計学園」の御案内（夏休みに向けて）	4	平成24年度地方統計職員業務研修（中央研修）の開催	8
		都道府県発とうけい通信④	9

# 家計調査（貯蓄・負債編）平成23年平均結果速報の概要

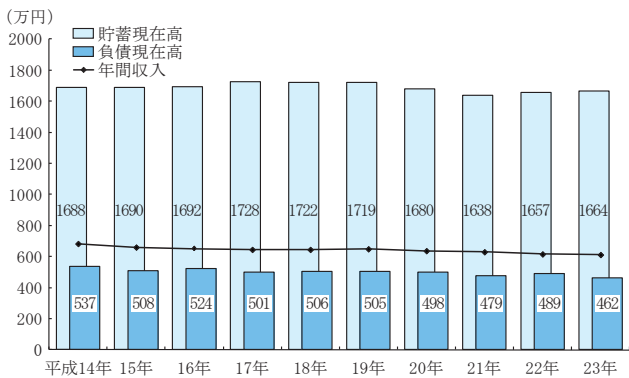
家計調査では、世帯の収入や支出のほかに貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の平成23年平均結果速報を24年5月15日に公表しましたので、その概要を紹介します。

## 二人以上の世帯の1世帯当たり貯蓄現在高は1664万円、負債現在高は462万円

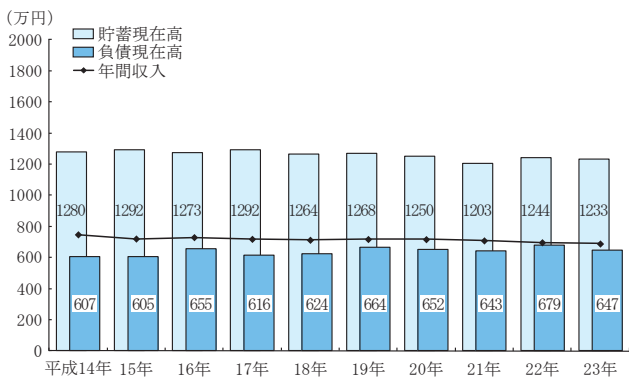
平成23年平均の1世帯当たり貯蓄現在高は、二人以上の世帯では1664万円となっています。一方、1世帯当たり負債現在高は462万円となっています。

二人以上の世帯のうち勤労者世帯では、貯蓄現在高は1233万円、負債現在高は647万円となっています（図1）。

図1 貯蓄・負債現在高の推移  
(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



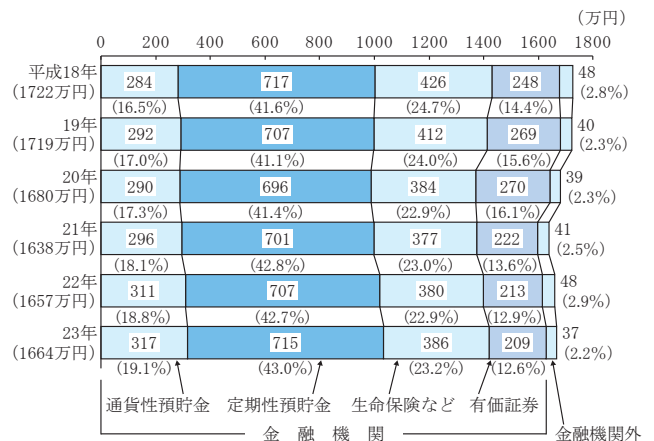
## 通貨性預貯金は増加傾向

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が715万円（貯蓄現在高に占める割合43.0%）と最も多く、次いで「生命保険など」が386万円（同23.2%）、通貨性預貯金が317万円（同19.1%）、有価証券が209万円（同12.6%）、金融機関外が37万円（同2.2%）となっています。

平成18年以降の推移をみると、通貨性預貯金は増加傾向が続き、減少傾向だった定期性預貯金及び「生命

保険など」は、22年に続き増加となっています。また、増加傾向だった有価証券は、平成20年をピークに減少となっています（図2）。

図2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比  
(二人以上の世帯)



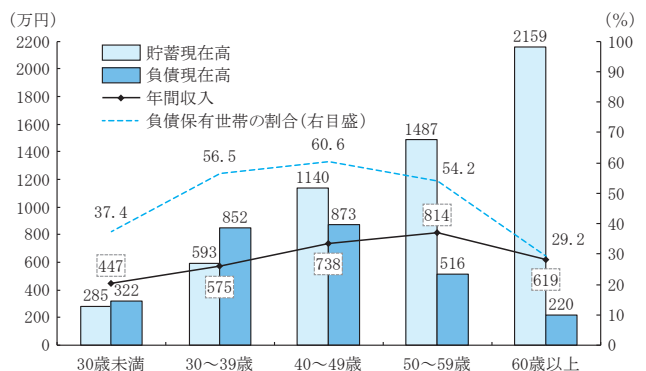
注) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

## 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっています。30歳未満の世帯の285万円に対し、60歳以上の世帯は2159万円と、その比は7.6倍となっています。

1世帯当たり負債現在高及び負債保有世帯の割合をみると、年齢階級が高くなるに従って高くなっていますが、40～49歳をピークにそれ以降は低くなっています（図3）。

図3 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高  
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



# 平成24年就業構造基本調査ポスターの紹介

平成24年就業構造基本調査は、10月の調査まで4か月余りとなりました。今回は、広報用ポスターのデザインが決まりましたので紹介します。

## 平成24年就業構造基本調査ポスター

本年10月1日に実施する就業構造基本調査は、全国の約47万世帯に住む世帯員約100万人を対象に、ふだん仕事をしているかどうかや就業に関する希望などについて調査します。

ポスターの図案は、「就業」についての調査であるという本調査の基本的な性格を表し、世の中の様々な職業をイラストを用いて表現したものとなっています。

それらのイラストも、「働く未来を考える」のキャッチフレーズと結び付け、子どもたちが将来なりたい職業をイメージするような親しみやすい絵柄としています。

このように、平成24年就業構造基本調査のポスターは、調査の趣旨を簡潔に表現し、かつ見て楽しく、分かりやすいデザインに決まりました。



## —統計資料館の御案内—

統計資料館は、統計局創設120年を記念して平成3年10月18日（統計の日）に開設しました。

当館では、統計調査の歴史や仕組みなどをパネル等で紹介するほか、明治初期からの統計に関する貴重な文献や第1回国勢調査の記録資料を始め、（一社）情報処理学会が情報処理技術遺産として認定した我が国初の統計集計機である「川口式電気集計機」と同機の入力用カードを作成する「亀の子型穿孔機」などを展示しています。

機会がありましたら、是非お立ち寄りください。

**所在地** 東京都新宿区若松町19-1  
総務省第二庁舎敷地内別棟2階

**開館時間** 午前9時30分から午後5時まで【入館無料】

**休館日** 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日及び  
年末年始

**電話** 03-5273-1187

※団体で見学される場合は、事前に下記まで御連絡ください。

【総務省統計研修所統計図書館運営企画係】

**電話** 03-5273-1131

**メール** q-kikaku@soumu.go.jp

統計資料館 検索

<http://www.stat.go.jp/training/toshokan/5.htm>

### 【主な展示コーナー】

- ・統計のはなしコーナー
- ・古資料にみる統計の歩みコーナー
- ・機器にみる統計の歩みコーナー
- ・統計調査コーナー



川口式電気集計機（奥）と亀の子型穿孔機（ケース内手前）

# 「なるほど統計学園」の御案内（夏休みに向けて）

統計局では、新たな学習指導要領に沿った統計教育を支援するため、小・中学生向けサイト「なるほど統計学園」を平成22年度から開設しています。

その中から、今回は、夏休み向け自由研究で統計をテーマとした際に有用なコンテンツを紹介します。



「なるほど統計学園」は、**探す・使う・作る**、**学ぶ・知る**、**親しむ**、**遊ぶ**、**放課後**の五つのカテゴリで構成されています。今回紹介するコンテンツは全て **探す・使う・作る** のカテゴリにあります。

「自由研究」を行うに当たり、まずは「テーマ選び」、次にテーマに沿った「統計データ探し」、そして、実際に「統計をグラフにあらわす」、といった手順で行いましょう。

## 「テーマ選び」

### ●自由研究お助け隊 **探す・使う・作る**

自由研究のテーマの選び方や進め方を紹介するコーナーです。読みながら簡単にわかるマンガ版「マンガで見る自由研究」や、より詳しく知りたい方向けのテキスト版「詳しく分かる・自由研究の進め方」などを用意しています。

「詳しく分かる・自由研究の進め方」ではテーマ例として、「なるほど統計学園」先生役キャラクターの本間先生が「日本の人口～過去・現在・未来」、「日本の住宅事情は？」などいくつかメニューを用意していますので、テーマ探しの参考になります。

## 「統計データ探し」

### ●探してみよう統計データ **探す・使う・作る**

知りたいことからでも、調べたい分野からでも、統計データを探せるコーナーです。都道府県で比べたり、世

界の国々と比較できるデータもあります。グラフで見たり、ダウンロードすることも可能です。「出典の統計表」を見ればより詳しく内容を把握することができます。

また、「チャレンジ！e-Stat」では、政府統計の総合窓口（e-Stat）の使い方などを学習できます。統計データの調べ方や資料・データの利用方法を身につけることで、より適切に資料・データを収集できるようになります。

## 「統計をグラフにあらわす」

### ●統計をグラフにあらわそう **探す・使う・作る**

9種類のグラフについて特徴を紹介しています。表す内容によって、どんなグラフが向いているのかが理解でき、統計を適切にグラフに表すことができます。



本間先生

### ●作ってみよう統計グラフ **探す・使う・作る**

棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフを作成できるソフトと都道府県データを塗り分けるための白地図をダウンロードできます。資料・データを白地図を使用して地図上に整理することで、分かりやすく地域を比較できるようになります。



はかり 学園長

これから夏休み向け自由研究で、統計をテーマとする際には、今回、紹介したコンテンツを御活用ください。もちろん、小・中学生だけでなく、保護者の方や、統計調査に携わる方など大人でも楽しんで使っていただけますので、是非一度、御利用ください。

【なるほど統計学園】

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm>

なるほど統計学園

検索



# － ビジネスレジスターの運用開始に向けた取組状況 －

総務省統計局では、新統計法の規定に基づく、事業所母集団データベース（ビジネスレジスター）の整備を進めており、平成22年度に「事業所母集団データベースの整備方針」を策定し、平成25年1月の運用開始に向けて所要の準備を行っていますので、その取組状況を紹介します。

## ビジネスレジスターについて

ビジネスレジスターとは、各種統計調査結果や行政記録情報等を活用して、事業所・企業を対象とした統計調査の母集団となるデータを整備したデータベースであり、国、都道府県及び政令指定都市等において利用することができます。

諸外国では、ビジネスレジスターを整備することにより、各種統計調査の品質の向上・確保に役立てるとともに、各種の統計調査を結合した統計（レジスター統計）を作成しています。

我が国では、平成19年の統計法の改正によって、法律上初めて規定されました。

### 1 平成23年度の取組

ビジネスレジスターの基本的なシステムの構築は、平成23年度内にほぼ終了し、併せて、ビジネスレジスターの運用管理規程（案）を作成しました。

また、ビジネスレジスターのデータ整備に向けて、各府省から提供された各種統計調査結果や行政記録情報等をビジネスレジスターの基盤情報と照合し、収録方法や活用等の検討を行ったほか、厚生労働省から毎月提供を受けることとなった労働保険情報を利用して、新設・廃業事業所の照会業務を試験的に実施しました。

### 2 今年度の取組

#### (1) ビジネスレジスターの運用試験

平成25年1月から運用を開始するビジネスレジスターの円滑な運用を行うため、7月から運用試験を実施します。この運用試験を通して、システムの詳細な構築・調整やビジネスレジスターの基盤となるデータの準備等を行います。

#### (2) 運用管理規程の策定

ビジネスレジスターの運用開始に向けて、昨年度作成した運用管理規程（案）を基に、今年度実施するビジネスレジスターの運用試験の結果を踏まえ、今年末までに運用管理規程を策定します。

#### (3) 労働保険情報を活用した照会業務

平成23年度に試験的に実施した労働保険情報を活用した新設・廃業事業所の照会業務については、今年度から本格的な実施を開始します。

#### (4) ビジネスレジスター統計の検討

諸外国におけるレジスター統計を参考に、どのような集計や公表を実施するかについて検討を進めます。

### 3 ビジネスレジスターのポイント

ビジネスレジスターのポイントとビジネスレジスターの利用手順（右図）を紹介します。

#### ○ 重複是正事務の簡素化

各府省が統計調査の実施計画をビジネスレジスターに登録することによって、特定の事業所・企業に調査が集中することを防ぐための重複是正に係る事務の実施状況を適正に管理するとともに、重複是正に係る事務を簡素化し、事務負担の軽減を図ります。

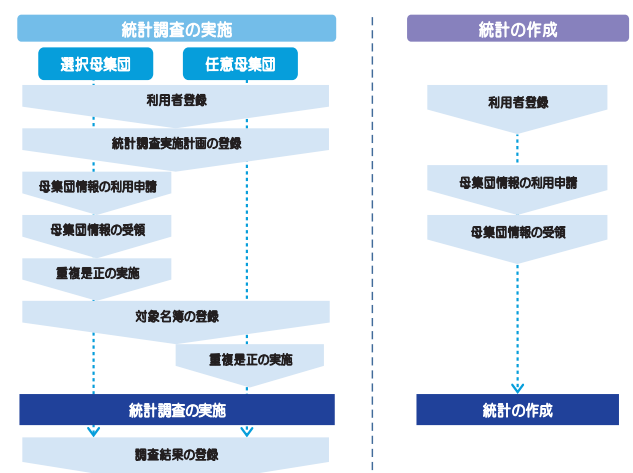
#### ○ 年次フレームの提供

経済センサスを基礎として、各府省から提供された各種統計調査結果や行政記録情報等により整備した母集団情報を年次フレームとして提供します。（年次フレームの提供は、平成25年度第1四半期を予定。）

#### ○ 共通事業所コードの保持

共通事業所コードは、ビジネスレジスターの運用、統計調査の実施、結果の利活用等において、重要な役割を担うコードであることを踏まえ、各府省において共通事業所コードを保持することを運用管理規程に明記し、共通事業所コードの保持を推進します。

図 ビジネスレジスターの利用手順



\* 選択母集団とは、ビジネスレジスターから調査に必要な属性的範囲（産業分類等）を選択して作成した母集団情報。任意母集団とは、各府省が行政記録情報等から作成し、調査に使用する独自の母集団をいう。

事業所母集団データベース（ビジネスレジスター）のこれまでの検討状況は、総務省統計局ホームページを御覧ください。  
（<http://www.stat.go.jp/info/kenkyu/jsdb/index.htm>）

# 統計データの二次利用に関する取組

## 統計データの二次利用とは

統計調査によって集められた調査票情報を、本来の目的とは別に、二次的に活用することを統計データの二次利用といいます。同種の統計調査の実施を抑制することができ、その結果として、調査対象者の負担を軽減したり、また、学術研究等に活用したりすることが可能です。

統計データの二次利用には、従来から存在する「調査票情報の二次利用」と統計法改正を受けて平成21年度に新規に始まった「オーダーメイド集計」及び「匿名データの提供」の二種類があります。

従来の「調査票情報の二次利用」については、調査票情報をそのまま利用するため、秘密保護上の制約から利用者が相当制限されるなど、その運用については慎重に慎重を重ね行われてきたところですが、その敷居を低くすることによって、一般の方々向け等に統計データを活用しやすくしたものが、「オーダーメイド集計」及び「匿名データの提供」です。

## 「オーダーメイド集計」及び「匿名データの提供」

「オーダーメイド集計」とは、既存の統計調査で得られた調査票情報を活用して、調査実施機関等が申出者からの委託を受けて、そのオーダーに基づいた新たな統計を集計・作成し、提供するものです。

また、「匿名データの提供」とは、統計調査から得られた調査票情報について、調査客体が特定されないように加工（匿名化措置：単に氏名など個体を直接識別できる情報を削除するのみならず、個々のデータの特徴から個体が間接的に特定されることがないように、地域区分や様々な属性に関する詳細な分類区分を統合して情報を粗くしたり、特異なデータを削除したりするなどの処理）を施した上で、申出者に対し匿名データとして提供（貸与）するものです。

## 行政機関等におけるサービスの実施状況

行政機関等でサービスの拡大を順次実施しているところであり、最新のサービス提供状況・提供窓口等下記のURLに掲載されています。詳細については提供窓口にお気軽にお尋ねください。

行政機関等におけるサービス状況（各府省における年度計画一覧）

<http://www.stat.go.jp/index/seido/2jiriyou.htm#6>

## 1 総務省統計局における二次利用の取組

総務省統計局では、平成21年4月から、各府省の先陣を切ってオーダーメイド集計及び匿名データの提供のサービスを実施しています。学術研究又は高等教育の目的で利用が可能です。平成23年度に世帯を対象とする全ての統計調査のオーダーメイド集計を開始するなど、引き続き、サービスの対象とする統計調査の年次拡大等に努めているところです。

利用可能な統計調査	
オーダーメイド集計	
国勢調査	全国消費実態調査
社会生活基本調査	就業構造基本調査
住宅・土地統計調査	家計消費状況調査
労働力調査	家計調査
匿名データの提供	
全国消費実態調査	社会生活基本調査
就業構造基本調査	住宅・土地統計調査
労働力調査	

なお、提供の事務については、独立行政法人統計センターに委託しています。

## 2 利用実績

サービスを開始した平成21年度は匿名データの提供20件、オーダーメイド集計4件の利用がありましたが、平成23年度は匿名データの提供31件、オーダーメイド集計9件となっています。

具体的には、以下のような研究テーマで利用されています。

### オーダーメイド集計

国勢調査：  
若者の住宅条件とその空間特性に関する研究

### 匿名データの提供

就業構造基本調査：  
若者の就業・非就業と少子化に関する研究 等

全国消費実態調査：  
年齢階級別所得格差の要因分解に関する研究 等

社会生活基本調査：  
就業者における曜日別生活時間配分に関する研究 等

統計センターのホームページには、ここで紹介したものを含めて、二次利用制度を利用した実際の研究テーマ・論文を掲載しています。今後、更に多くの研究実績を掲載していく予定です。

## 3 ホームページのご案内

今回紹介した内容等について、下記のホームページでも御覧になれます。興味のある方は是非御覧ください。

### 提供内容、利用条件等について

総務省統計局ホームページ

<http://www.stat.go.jp/info/tokumei/index.htm>

### 実際の利用方法、利用実績等について

統計センターホームページ

<http://www.nstac.go.jp/services/archives.html>

# 第60回統計グラフ全国コンクール作品募集

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されており、今年で60回目を迎えました。

このコンクールは、（公財）統計情報研究開発センター（以下「開発センター」といいます。）が主催し、総務省、文部科学省等の関係機関の後援及び協賛により、10月18日の「統計の日」の関連行事として実施されています。

昨年（第59回）は、全国の小・中学生から一般の方々まで、25,418作品に及ぶ多くの応募がありました。

特に優秀な作品に贈られる総務大臣特別賞に選ばれた作品は、千葉県茂原市立茂原中学校2年の金子紗弓さんの作品で、テーマは「2011 中学生も節電の夏！」〔第4部（中学校の生徒）特選作品から選出〕でした。

「総務大臣特別賞」を含む特選受賞作品の表彰は平成23年11月16日（水）に「国立オリンピック記念青少年総合センター」（東京都渋谷区）で開催された第61回全国統計大会の席上で、入選作品の表彰は各都道府県で開催された地方統計大会、統計功労者表彰式等の席上でそれぞれ行われました。

また、58点の特選・入選作品は、上記の全国統計大会のほか、「統計データ・グラフフェア」（平成23年10月22日（土）～23日（日）新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催）等の会場において展示されました。

今年も次のように作品の募集が行われています。

皆さんの御応募をお待ちしております。

## 応募資格

- 第1部・・・小学校1年生及び2年生の児童
- 第2部・・・小学校3年生及び4年生の児童
- 第3部・・・小学校5年生及び6年生の児童
- 第4部・・・中学校の生徒
- 第5部・・・高等学校以上の生徒、学生及び一般
- パソコン統計グラフの部・・・小学校の児童以上

## 課題

課題は各部とも自由です。ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

## 規格

各部とも、B2判（仕上げ寸法72.8cm×51.5cm、用紙は貼り合わせでもB2判であれば可）です。

## 提出先・締切日

提出先は各都道府県統計協会（統計協会が設置されていない都道府県においては、都道府県統計主管課）となります。

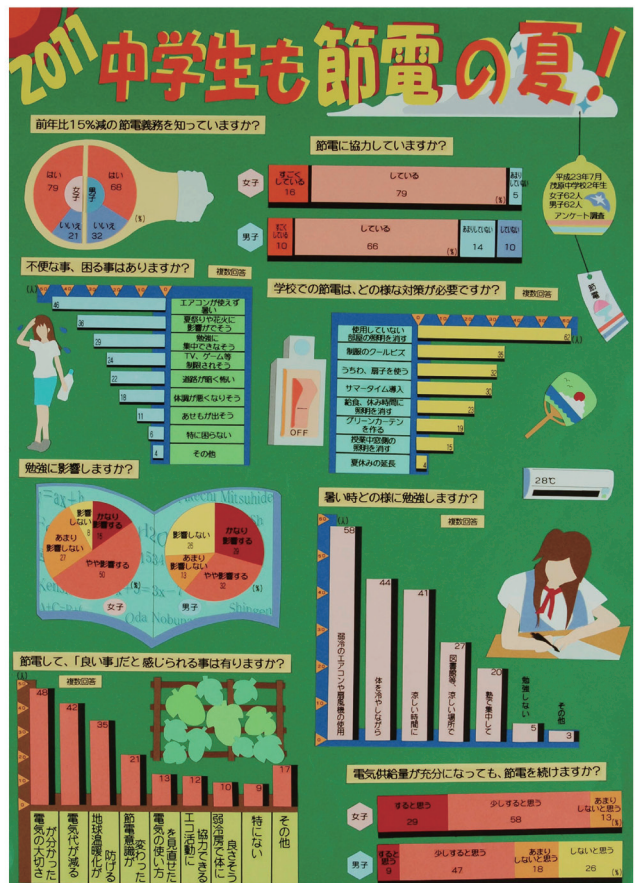
締切日は各都道府県統計協会で異なりますが、おおむね9月上旬となっています。

## 入賞区分・賞等

各部ごとに特選、入選及び佳作作品が選定され、特選の中から、特に優秀な作品に対しては、「総務大臣特別賞」、「文部科学大臣奨励賞」等が特別賞として贈られます。

## 締切日や応募方法等の問合せ先

締切日や応募方法等の詳細は、開発センターのホームページ（<http://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>）を御覧いただくか、同センターまでお問い合わせください（連絡先：03-3234-7478）。



第59回総務大臣特別賞受賞  
千葉県茂原市立茂原中学校2年（受賞時）  
金子 紗弓 さんの作品

# 平成24年度地方統計職員業務研修（中央研修）の開催

## 地方統計職員業務研修（中央研修）とは

近年の統計調査の現場を見ますと、市区町村では、統計業務に従事している職員の多くが他の業務と兼務しており、都道府県においても、人事異動サイクルの短期化等により、統計職員に必要とされる知識・経験の習得が必ずしも十分とはいえない状況です。

このような中、総務省政策統括官室では、地方における研修実施をサポートするため、都道府県統計主管課で研修の企画・運営に従事する職員や自ら研修講師を務める職員を対象に地方統計職員業務研修（中央研修）を毎年度実施しています。

## 研修の概要

平成24年度は、4月26日（木）、27日（金）の2日間、東京都新宿区総務省第2庁舎敷地内にある統計研修所において、都道府県から計57名の参加を得て実施しました。

なお、今回の研修では、昨年度の参加者アンケートの結果も踏まえ、外部講師の招聘や参加者によるプレゼンテーションの実施など、より効果的な研修となるようにプログラム変更しました。

### < 4月26日（1日目） >

- 1 講義：「クイズで学ぶ統計実務」（講師：政策統括官（統計基準担当）伊藤 孝雄）  
研修講師を務める職員が身に付けるべき統計行政の概要など、最低限の知識をクイズ形式にして説明しました。
- 2 特別講義：「大災害と統計：阪神・淡路大震災の事例を中心に」（講師：神戸大学大学院経済学研究科准教授 宇南山 卓氏）  
消費行動分析などを専門とする宇南山氏から、大災害時に統計が果たすべき役割や課題について、阪神・淡路大震災における事例を踏まえて御講義いただきました。
- 3 講話：「統計調査の現場から」（講師：広島県尾道市統計調査員 村上 陽子氏）  
昨年度の大内賞受賞者である村上陽子氏から、41年間、統計調査員を経験しての御苦労や、地元尾道市の調査現場からの生の声を御紹介いただきました。



講話「統計調査の現場から」の様子

- 4 講義：「コミュニケーション能力向上とプレゼンテーションの技法」（講師：(株)話し方研究所 菊池 雅彦氏）  
効果的なプレゼンテーションを行うために必要な準備やテクニック、実際のプレゼンテーションにおける留意点などについて御講義いただきました。  
また、グループワークによるプレゼンテーションの実習を行いました。



参加者によるグループワークの様子

### < 4月27日（2日目） >

- 1 講義：「統計研修所の地方公共団体職員に対する統計研修の実施状況について」（講師：統計研修所企画課長 宇田川 恵子）  
統計研修所が企画・実施している地方公共団体職員が対象の研修について、実施状況や講義内容を説明しました。
- 2 講義：「地方研修に役立つおもしろい統計10～統計からわかる意外な真実！～」（講師：政策統括官付統計企画管理官 千野 雅人）  
国勢調査を始めとする人口統計のデータから分かる意外な真実を、データに基づく解説を交えて説明しました。
- 3 講義：「統計制度改革及び平成24年度就業構造基本調査の概要」（講師：政策統括官付統計審査官室 調査官 金子 正寿）  
統計制度改革の背景や経緯、また、今年度実施する就業構造基本調査の改正事項について説明しました。
- 4 講義：「地方統計職員業務研修の実施状況」（講師：政策統括官付統計企画管理官室 普及指導担当統計専門職 神 朋哉）  
各都道府県において、統計関係職員向けに実施している地方研修の内容及び実施状況について説明しました。
- 5 プレゼンテーション：「平成23年度の職員研修における取組事例」（青森県、秋田県、神奈川県、愛知県、大阪府及び岡山県）  
特徴的な職員研修を実施している6府県から、昨年度の職員研修におけるカリキュラムの検討や講師の選定方法、来年度に向けた課題などをプレゼンテーションし、その後、参加者との意見交換を行いました。  
参加者からは、他府県における研修の実態を知る事ができ、非常に参考になったとのことでした。



岡山県のプレゼンテーションの様子

## 研修を終えて

今回の中央研修が各都道府県における研修の企画・実施や、業務遂行に役立つことを期待しております。

また、受講者の皆さんに頂きましたアンケートの御意見・御要望は、今後の研修の検討に活用させていただきます。



## 都道府県発とうけい通信④

# 「統計からみた愛媛県 ～かんきつ類だけじゃない，愛媛の日本一～」

## 愛媛県企画振興部管理局統計課

皆さんは、愛媛と聞いて何を思い浮かべられるでしょうか。やっぱりみかんですか？

でも、愛媛県のみかんの収穫量は、実は和歌山県に次いで2位なのです。

それでは、ほかのかんきつ類はどうでしょうか。

次の表のとおり、いよかん、ポンカン、清見、河内晩柑、せとか、はるみ、はれひめが全国1位、みかん、デコポン、レモンが全国2位、さらになつみかん、はっさく、ユズが全国3位となっており、総合的に見て愛媛県が「かんきつ王国」であることがわかります。



【かんきつ類の収穫量】

品目	年次	単位	収穫量	全国順位	資料出所
いよかん	21	t	61,284.4	1	農林水産省 特産果樹生産動態等調査報告書
ポンカン	21	t	10,907.1	1	
清見	21	t	8,043.7	1	
河内晩柑	21	t	5,201.1	1	
せとか	21	t	2,286.0	1	
はるみ	21	t	1,850.4	1	
はれひめ	21	t	1,162.4	1	農林水産省 特産果樹生産動態等調査報告書
みかん	22	t	115,600	2	
デコポン	21	t	10,271.8	2	
レモン	21	t	2,268.2	2	
なつみかん	21	t	10,174.5	3	
はっさく	21	t	2,227.3	3	
ユズ	21	t	3,006.5	3	

ところで、消費の方を見てみると、「平成24年3月16日家計調査（二人以上の世帯）都道府県庁所在市及び政令指定都市別ランキング（平成21～23年平均）」によると、松山市の消費金額は、「みかん」が5,750円、「他のかんきつ類」が3,858円と、「みかん」は静岡市、「他のかんきつ類」は高知市に首位を譲って、いずれも全国3位となっています。

次に、ほかの農林水産物における日本一も見てみましょう。

かんきつ類以外では、裸麦の生産や、海面養殖業が盛んなことがわかります。

【かんきつ類以外の農林水産物の収穫量・生産量】

品目	年次	単位	収穫量又は生産量	全国順位	資料出所
裸麦	22	t	4,310	1	農林水産省作物統計
キウイフルーツ	22	t	5,970	1	農林水産省果樹生産出荷統計
ひのき	22	千㎡	179	1	農林水産省木材統計
養殖まだい	22	t	35,457	1	農林水産省 海面漁業生産統計調査
養殖しまあじ	22	t	870	1	
真珠(淡水真珠除く)	22	kg	8,163	1	

続いて工業製品も見てみましょう。

やはりタオルや紙関係の製造業が盛んです。

【工業製品等の生産量・出荷額】

品目	年次	単位	生産量又は出荷額	全国順位	資料出所
けずり節	22	t	10,644	1	農林水産省水産物流通統計年報
タオル地	22	百万円	2,428	1	経済産業省 工業統計表
タオル(ハンカチ7除く)	22	百万円	20,700	1	
障子紙・書道用紙	22	百万円	2,412	1	
祝儀用品	22	百万円	5,865	1	
紙製衛生材料	22	百万円	7,846	1	
抄紙機	22	百万円	10,733	1	

面白いところでは、次のような日本一もありました。

愛媛県の暮らしやすさが分かっていただけではないでしょうか。

【通勤や趣味の時間等】

指標項目	年次	単位	時間又は家賃	全国順位	資料出所
通勤・通学時間	18	分	20	1	総務省社会生活基本調査 (週全体での総平均時間)
趣味・娯楽時間	18	分	53	1	
民営賃貸住宅の家賃	23年平均	円	3,273	1	総務省小売物価統計調査年報 (都道府県庁所在市の1か月3.3㎡当たり)

さて、最後になりますが、愛媛県イメージアップキャラクターの「みきゃん」を紹介します。

みかんと、野を駆ける動物に似た愛媛県の形と愛媛の方言「～やけん(犬)〔意味：～だから〕。」から、犬をモチーフにして、2011年11月11日に誕生しました。

誕生以来、県内外の各種行事で大活躍中です。よろしくお願ひします。

「みきゃん」やけん  
愛媛が好きやけん♪



愛媛県イメージアップキャラクター  
「みきゃん」

# 最近の数字

		人 口		労 働・賃 金			産 業		家 計 (二人以上の世帯)		物 価	
		総 人 口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季調済)	サービス産業 の間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H17 = 100	兆円	円	円	全国	東京都区部	
										H22 = 100	H22 = 100	
実 数	H23. 12	127,787	6222	4.5	668,705	93.4	24.5	328,080	749,899	99.4	99.3	
	H24. 1	P12773	6211	4.6	296,910	95.2	P21.0	283,124	355,820	99.6	99.1	
	2	P12770	6226	4.5	293,562	94.4	P21.1	267,855	405,735	99.8	99.1	
	3	P12765	6215	4.5	310,553	95.6	P26.5	303,841	364,900	100.3	99.5	
	4	P12765	6275	4.6	P304,723	P95.8	...	301,948	386,381	100.4	99.5	
	5	P12761	...	...	...	...	...	...	...	...	P99.2	
前 年 同 月 比	H23. 12	—	—	%	ポイント	%	%	%	%	%	%	
	H24. 1	—	-0.2	*	0.1	1.2	*	3.8	-1.8	0.5	-1.0	-0.2
	2	—	-0.8	*	0.1	-1.3	*	1.9	P-2.8	-2.3	1.4	0.1
	3	—	-0.6	*	-0.1	0.4	*	-1.6	P0.4	2.3	1.8	0.3
	4	—	<-0.4>	*	0.0	1.4	*	1.3	P5.7	3.4	3.7	0.5
	4	—	<-0.4>	*	0.1	P1.6	*	P0.2	—	2.6	2.3	0.4

注) P: 速報値 \* : 対前月  
 平成24年1月以降の就業者数の前年同月比は、平成22年国勢調査を基準として週及集計した値との比較  
 平成24年3月以降の就業者数に係る対前年同月比は、補完推計値を用いて計算した参考値  
 家計(二人以上の世帯)の平成23年12月から24年2月までは改定値(統計調査員による不正事務の発生に伴う再集計結果)  
 家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値



## 統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所の主要行事日程(2012年6月~7月)

時 期	行 事 等 の 概 要	時 期	行 事 等 の 概 要
6月1日	小売物価統計調査(自動車ガソリン:平成24年5月分)公表	13日	平成23年社会生活基本調査 生活行動に関する結果
4日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成24年4月分速報)公表	"	家計調査(家計消費指数:平成24年5月分)
"	統計研修 特別講座「一般職員課程」開講(~7日)	"	家計消費状況調査(支出関連項目:平成24年5月分確報)
11日	統計研修 特別講座「中堅職員課程」開講(~14日)	中旬	個人企業経済調査(構造編)平成23年結果
"	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程<基礎>(6月通信研修)開講(~29日)	"	第57回統計委員会
12日	家計調査(家計消費指数:平成24年4月分)公表	20日	人口推計(平成24年2月1日現在確定値及び平成24年7月1日現在概算値)公表
"	家計消費状況調査(支出関連項目:平成24年4月分確報)公表	23日	統計研修 専科「人口推計」開講(~27日)
"	平成24年就業構造基本調査地方別事務打合せ会開催(~29日)	27日	消費者物価指数(全国:平成24年6月分,東京都区部:平成24年7月分(中旬速報値))
中旬	統計でみる市区町村のすがた2012 刊行	"	サービス産業動向調査(平成24年5月分速報及び平成24年2月分確報)
"	第56回統計委員会	"	小売物価統計調査平成24年6月分(東京都区部:平成24年7月分)
20日	人口推計(平成24年1月1日現在確定値及び平成24年6月1日現在概算値)公表	30日	住民基本台帳人口移動報告(平成24年6月分)
"	統計研修 特別講座「経済統計入門」開講(~22日)	"	統計研修 専科「経済予測」開講(~8月3日)
25日	住民基本台帳人口移動報告(平成24年5月分)公表	31日	労働力調査(基本集計)平成24年6月分及び平成24年4月~6月期平均(速報)
"	統計研修 専科「調査設計」開講(~29日)	"	家計調査(二人以上の世帯:平成24年6月分速報)
28日	サービス産業動向調査(平成24年4月分速報及び平成24年1月分確報)公表	"	家計調査(貯蓄・負債編:平成24年1~3月期平均)
29日	労働力調査(基本集計)平成24年5月分(速報)公表	7月中	平成22年国勢調査 移動人口の産業等集計結果 ※全国及び47都道府県分
"	消費者物価指数(全国:平成24年5月分,東京都区部:平成24年6月分(中旬速報値))公表		
"	家計調査(二人以上の世帯:平成24年5月分速報)公表		
"	小売物価統計調査平成24年5月分(東京都区部:平成24年6月分)		
6月中	平成22年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計結果 ※全国及び47都道府県分		
7月5日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成24年5月分速報)		
6日	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成24年6月分		
9日	統計研修 専科「PCを用いた統計入門」開講(~13日)		
10日	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程<基礎>(7月通信研修)開講(~31日)		

この記事引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。

**編集発行 総務省統計局**  
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局総務課広報担当  
 TEL 03-5273-1120  
 FAX 03-5273-1010  
 E-mail g-kouhou@soumu.go.jp  
 ホームページ http://www.stat.go.jp/  
 御意見・御感想をお待ちしております。